

コード	201020203
記入日:	H22.6.11

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石英穂
担当者	渡辺徳宏

## 事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	ペット火葬場管理運営事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4		
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	1		
基本事業コード	20102	基本事業名称	環境保全活動の推進	目コード	4		
事務事業コード	2010202	事務事業名称	火葬場管理費	細目コード	1184		
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町ペット火葬場条例、施行規則			

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	犬、猫等	(対象指標1) 1,125匹 (H21.4畜犬登録数)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
旧有川火葬場火葬炉を改修し、有料でペット火葬を行なう。	平成21年8月1日からペット火葬場を開場した。 ペット火葬実績 27件 (犬 20件 猫 7件)	*****	*****	*****	利用件数÷利用申請件数	*****
		① 利用件数	27件	100%		平成21年度
		(達成率分析)	ペット火葬申請に対して全て対応できた。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		② (達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
ペット火葬場の安定的な管理・運営。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	利用可能日数243日÷開所日数243日	*****
		① 利用可能日数	243日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	平成21年8月1日から開場し、祝日等を含め常時受け入れ態勢を整えることができた。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		② (達成率分析)				

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 件	27	27		27	27					
	②										
成果指標	① 日	243	243		243	243					
	②										
総事業費C (A+B)	千円	1,444	1,312		1,444	1,312					
直接事業費 A	千円	744	612		744	612					
人件費 B	千円	700	700		700	700					
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円	309	289		309	289				
一般財源	千円	1,135	1,023		1,135	1,023					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町内には民間が運営するペット火葬場が無いため。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	ペットの位置付け、飼養者の意識の変化を考慮して、ペット火葬を行なう必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町内の公衆衛生上、必要であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	ペット火葬申請に対して適切に火葬ができています。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	ペット火葬申請、施設管理を適切に対応している。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	町外にペットを搬送し火葬しなくてはならず、ペット飼養者に時間と金銭面で負担を強いる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	次年度以降は、開場に伴う経費が不要となり管理経費だけになる。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限の人員でペット火葬場を管理・運営している。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	ペットの体重ごとに使用料を設定しており適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	適切である。
		有効性	適切である。
		効率性	適切である。
		課題に向けた改善策	申請者、受付、管理人ともスムーズにペット火葬業務が行われており適切である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	適切な施設の維持管理に努めること。
		効率性	住民の利便性の向上を図り、経費に執行については適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。